

村では、全国に「までいライフ」を発信し、村のイメージアップを図ることを目的に、飯館村にゆかりのある方10人を「飯館村までい大使」に委嘱しました。

今回、「新春村民のつどい」の席上で4人の方々から大使の委嘱状を交付しました。

までい大使は、今後村特産品の普及広報など村のイメージアップにお力添えをいただきます。

大使の任期は平成25年1月15日までの2年間です。



▲「新春村民のつどい」での席上、村長から委嘱状の交付を受ける「飯館村までい大使」

「飯館村までい大使」紹介 (敬称略 順不同)



Yae (ヤエ)
歌手



野崎 洋光
料理人
分とく山総料理長



示村 一也
料理人
KOSO 総支配人



稲 までか
俳人



菅原 美智子
ラジオ福島アナウンサー



谷川 洋
アジア教育友好協会
理事長



板本 洋子
日本青年館結婚相談所
専門相談員



増田 明美
スポーツジャーナリスト



佐藤 彌右衛門
大和川酒造代表社員



南 英二
㈱エムオーシー
代表取締役社長

「までい大使」の役割り

- 村の魅力とまでいライフを村外に発信します。
- 村と都市圏との橋渡しに協力します。
- 飯館牛等の農畜産物や地域特産品を村外に広報宣伝します。
- 村づくりのための助言や情報を提供します。
- 村のイメージアップを推進します。



▲祝辞を述べる佐藤長平村
議会議員



▲祝辞を述べる石原洋三郎
衆議院議員



▲新春パーティーのようす

金賞の佐藤雅彦くん(関根・松塚 9問正解)にiPadが贈呈されました。

また、銀賞(緑のふるさと商品券)、銅賞(宿泊体験館きこり利用券または図書カード)がそれぞれ当選者に贈られました。



▲金賞を受賞した佐藤雅彦くん(写真左)



▲10大ニュース結果発表のようす(左から石井理央さん、小泉祐里さん、細川大樹くん、菅野健太くん、濱田さくらさん)

平成22年(2010年)
村の10大ニュース
第1位は
「いいたてクリニック診療開始」

平成22年(2010年)村の10大ニュース結果 (投票総数: 1,976票)

1位 (1,206票)	4月5日…「総合診療所いいたてクリニックが診療開始」診療開始に合わせコミュニティバスも運行を開始し村民の新しい足に。
2位 (1,173票)	11月24日…「飯館小学校が福島民友新聞社にペットボトルキャップを寄託」取り組み開始以来3年間で906.5kgのキャップを集める。
3位 (854票)	5月11日…「あなたにつなぐ飯館絵本リレー事業開始」11月22日までに全国から絵本52,582冊の善意が寄せられる。7月15日には絵本の一部を村内幼・小・中の子どもたちにプレゼント。同事業の絵本活用事例第1号に。村内20箇所に絵本文庫も設置。
4位 (817票)	8月26日…「飯館産食材100%学校給食デー」飯館産の食材100%で学校給食実施。幼稚園から中学生までの子どもたちは大満足。
5位 (801票)	6月から…「光ファイバー敷設工事開始」村内約260*メートルの光ファイバー敷設は23年2月完成予定。地デジ再送信事業にも活用。
6位 (794票)	4月24日…「までいな家(飯館村までいな暮らし普及センター)が開所」「低炭素型田園ライフ」として新しいライフスタイルを提案する施設として様々なエコ事業を展開。
7位 (678票)	10月23日・24日…「第28回いいたて秋まつり」収穫感謝祭や総合文化展などさまざまな催しが行われる中、までいの里いいたてYOSAKOIまつりが行われ、村内外12団体が参加。天の恵みに感謝する満月ライブでは歌手Yaeさんが熱唱。
8位 (648票)	9月21日…「飯館中学校前庭『奏(かなで)の庭』完成」待合所『ばすすとつぷ和場(なごみば)』とともに竣工式を開催。3年間の大プロジェクトがここに完結。
9位 (628票)	10月28日…「もりの駅まごころの来場者が15万人を突破」きのこが豊作で客足伸びる。
10位 (571票)	7月2日…「村の公用車に電気自動車導入」愛称の『ストップ温暖カー』は飯館中学校の高野雅志さん、菅野俊幸さんが命名。